



主軸用軸受

10. 円筒ころ軸受 目次

10.1	複列円筒ころ軸受	232
10.2	単列円筒ころ軸受	232
10.3	呼び番号	233
10.4	円筒ころ軸受のテーパ穴精度	234
10.5	円筒ころ軸受の精度	236
10.6	円筒ころ軸受のラジアル内部すきま	238
10.7	高精度円筒ころ軸受の推奨はめあい	240
10.8	推奨潤滑仕様	241
10.9	超高速複列円筒ころ軸受 NN30HSRT6 タイプ	242
10.10	超高速単列円筒ころ軸受 N10HSRT6 タイプ	244
10.11	環境対応型エアオイル潤滑超高速単列円筒ころ軸受 N10HSLT6 タイプ	246

寸法表

	複列円筒ころ軸受	248
	高速単列円筒ころ軸受	254
	超高速単列円筒ころ軸受	258
	環境対応型超高速単列円筒ころ軸受	260
10.12	NTN 精密円筒ころ軸受用テーパゲージ	
	および残留内部すきま調整ゲージ	262
	テーパゲージ 寸法表	262
	残留すきま調整ゲージ 寸法表	263

10. 円筒ころ軸受

円筒ころ軸受は、ころと軌道が線接触をしており、ラジアル荷重の負荷能力が大きく、構造上高速回転にも適します。

工作機械主軸用として用いられる円筒ころ軸受には、複列および単列があり、ラジアル内部すきまを調整することができるように内輪内径がテーパ穴の軸受もあります。

10.1 複列円筒ころ軸受

複列円筒ころ軸受には、NN、NNUの二つの形式と30、49の2タイプがあります。ころはNN形式の場合内輪のつばで案内され、NNU形式の場合は、外輪のつばで案内されます。

軸受形式は標準タイプと高速仕様のHSタイプがあり、高力黄銅鋳物もみ抜き保持器を標準としています。

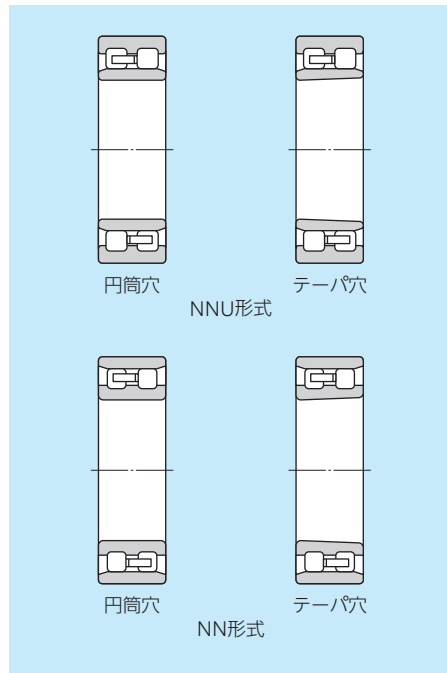


図 10.1

ただし、軸受内径φ65～φ140 mmのNN30タイプについては、内部仕様の最適化、PEEK樹脂保持器により高速化・長寿命化を図った、高速NN30HST6タイプおよびULTAGE®シリーズ超高速NN30HSRT6タイプとなります。

どの軸受タイプもグリース潤滑、エアオイル潤滑のいずれにも使用できます。

10.2 単列円筒ころ軸受

単列円筒ころ軸受には高速N10HSタイプとULTAGE®シリーズ超高速N10HSRT6タイプがあります。N10HSタイプが高力黄銅鋳物もみ抜き保持器、N10HSRT6タイプがPEEK樹脂保持器を用いており、グリース潤滑、エアオイル潤滑のいずれにも使用できます。N10HSRT6タイプにはエアオイル潤滑専用のULTAGE®シリーズ環境対応型超高速N10HSLT6タイプもあります。

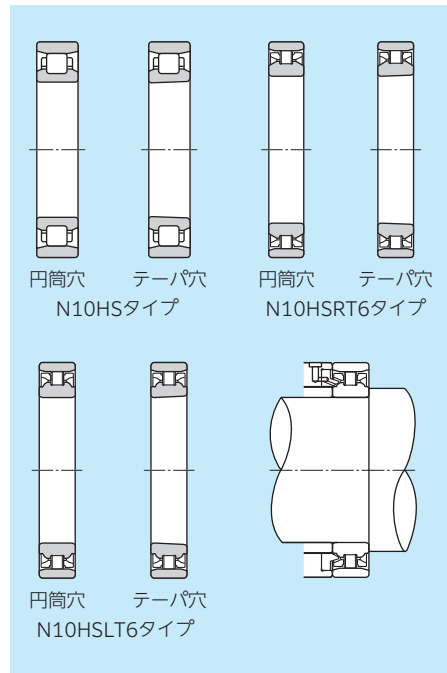


図 10.2

10.3 呼び番号

NN49, 30, NNU49タイプ

NN 30 20 HSR T6 K C0NA P4

- 精度等級記号 P5: JIS 5級 P2: JIS 2級
P4: JIS 4級 UP: 特殊高精度
- 内部すきま記号 表10.4～表10.6参照
- 軌道輪形状記号 K: 内径1/12テーパ穴
記号なし: 内径円筒穴
- 保持器記号 記号なし: 高力黄銅鋳物もみ抜き保持器
T6: PEEK樹脂保持器
- 軸受形式 記号なし: 標準仕様, HS: 高速仕様
HSR: 超高速仕様
- 内径番号
- 寸法系列記号
- 軸受形式記号 NN: 複列・内輪つば付き
NNU: 複列・外輪つば付き

N10HS, N10HSRT6タイプ

N 10 20 HSR T6 K C0NA P4

- 保持器記号 T6: PEEK樹脂保持器（軸受形式HSRに適用）
記号なし: 高力黄銅鋳物もみ抜き保持器
- 軸受形式 HS: 高速仕様, HSR: 超高速仕様
- 軸受形式記号 N: 単列・内輪つば付き

N10HSLT6タイプ

N 10 20 HSL T6 K C0NA P4 +TKZ

- 間座記号（環境対応型ノズル）
- 保持器記号 T6: PEEK樹脂保持器
- 軸受形式

備考 N10HSL: 軸受本体のみの名称
TKZ: 環境対応型ノズル単体、またはノズルを組込んだ間座の名称（N10HSLの場合）

10.4 円筒ころ軸受のテーパ穴精度

NTN では、JIS 4 級、および 2 級のテーパ穴の精度を規定しており、表 10.1 に示します。このテーパ穴の精度が悪いと内輪の軌道面が傾き、軸受の性能を発揮できないばかりか、早期焼付き、剥離などの原因となります。主軸の高精度化のため、

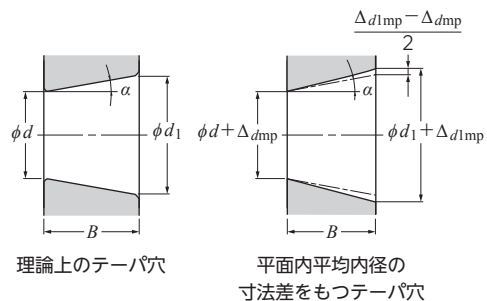
テーパゲージの使用を推奨します。テーパ角度の狙い、当たり調整については技術解説(6. 軸受の取扱い 6.8 円筒ころ軸受テーパ穴と主軸テーパ角度) の項をご参照ください。

表 10.1 テーパ穴軸受の許容差および許容値

単位: μm

d mm を超え 以下	Δ_{dmp}				$\Delta_{dlmp} - \Delta_{dmp}$ (参考値)				V_{dsp}	
	4級		2級		4級		2級		4級	2級
	上	下	上	下	上	下	上	下	最大	最大
18 30	+10	0	+6	0	+4	0	+3	0	2.5	1.5
30 50	+12	0	+7	0	+5	0	+3.5	0	2.5	1.5
50 80	+15	0	+8	0	+6	0	+4	0	3	2
80 120	+20	0	+10	0	+7	0	+5	0	4	2.5
120 180	+25	0	+12	0	+8	0	+6	0	5	3.5
180 250	+29	0	+14	0	+9	0	+7	0	7	4.5
250 315	+32	0	—	—	+10	0	—	—	8	—
315 400	+36	0	—	—	+12	0	—	—	9	—
400 500	+40	0	—	—	+14	0	—	—	10	—

備考 NTN の規格です。



$$1/12 \text{ テーパ角許容差 } 4^\circ 46' 18.8'' \text{ } ^{+24}_0$$

$$\alpha = 2^\circ 23' 9.4''$$

$$d_1 = d + \frac{1}{12} B$$

Δ_{dmp} : テーパ穴の理論上の小端における平面内平均内径の寸法差

Δ_{dlmp} : テーパ穴の理論上の大端における平面内平均内径の寸法差

V_{dsp} : 平面内内径不同

B : 呼び内輪幅

図 10.3

10.5 円筒ころ軸受の精度

表 10.2 内輪

呼び軸受内径 d mm	平面内平均内径の寸法差 Δ_{dmp}						平面内内径不同 V_{dsp}						平面内 平均内径の不同 V_{dmp}			ラジアル振れ K_{ia}		
	5級		4級 ¹⁾		2級 ¹⁾		直径系列 9			直径系列 0			5級			5級		
	上	下	上	下	上	下	最大		最大	最大		最大	最大		最大	最大		最大
18 30	0	-6	0	-5	0	-2.5	6	5	2.5	5	4	2.5	3	2.5	1.5	4	3	2.5
30 50	0	-8	0	-6	0	-2.5	8	6	2.5	6	5	2.5	4	3	1.5	5	4	2.5
50 80	0	-9	0	-7	0	-4	9	7	4	7	5	4	5	3.5	2	5	4	2.5
80 120	0	-10	0	-8	0	-5	10	8	5	8	6	5	5	4	2.5	6	5	2.5
120 150	0	-13	0	-10	0	-7	13	10	7	10	8	7	7	5	3.5	8	6	2.5
150 180	0	-13	0	-10	0	-7	13	10	7	10	8	7	7	5	3.5	8	6	5
180 250	0	-15	0	-12	0	-8	15	12	8	12	9	8	8	6	4	10	8	5
250 315	0	-18	—	—	—	—	18	—	—	14	—	—	9	—	—	13	—	—
315 400	0	-23	—	—	—	—	23	—	—	18	—	—	12	—	—	15	—	—
400 500	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注 1) 4 級, 2 級に適用する実測内径の寸法差 Δ_{ds} の許容差は平面内平均内径の寸法差 Δ_{dmp} の許容差と同じです。

表 10.3 外輪

呼び軸受外径 D mm	平面内平均外径の寸法差 Δ_{Dmp}						平面内外径不同 V_{Dsp}						平面内 平均外径の不同 V_{Dmp}			ラジアル振れ K_{ea}		
	5級		4級 ²⁾		2級 ²⁾		直径系列 9			直径系列 0			5級			5級		
	上	下	上	下	上	下	最大		最大	最大		最大	最大		最大	最大		最大
30 50	0	-7	0	-6	0	-4	7	6	4	5	5	4	4	3	2	7	5	2.5
50 80	0	-9	0	-7	0	-4	9	7	4	7	5	4	5	3.5	2	8	5	4
80 120	0	-10	0	-8	0	-5	10	8	5	8	6	5	5	4	2.5	10	6	5
120 150	0	-11	0	-9	0	-5	11	9	5	8	7	5	6	5	2.5	11	7	5
150 180	0	-13	0	-10	0	-7	13	10	7	10	8	7	7	5	3.5	13	8	5
180 250	0	-15	0	-11	0	-8	15	11	8	11	8	8	8	6	4	15	10	7
250 315	0	-18	0	-13	0	-8	18	13	8	14	10	8	9	7	4	18	11	7
315 400	0	-20	0	-15	0	-10	20	15	10	15	11	10	10	8	5	20	13	8
400 500	0	-23	—	—	—	—	23	—	—	17	—	—	12	—	—	23	—	—
500 630	0	-28	—	—	—	—	28	—	—	21	—	—	14	—	—	25	—	—
630 800	0	-35	—	—	—	—	35	—	—	26	—	—	18	—	—	30	—	—

注 2) 4 級, 2 級に適用する実測外径の寸法差 Δ_{Ds} の許容差は平面内平均外径の寸法差 Δ_{Dmp} の許容差と同じです。単位: μm

内径の軸線に対する 内輪側面の直角度 S_d			実測幅の寸法差 Δ_{Bs} 単体軸受				幅不同 V_{Bs}		
5級	4級	2級	5級	4級	2級	5級	4級	2級	5級
最大	最大	最大	上	下	上	下	最大	最大	最大
8 4 1.5	0	-120	0	-120	5	2.5	1.5		
8 4 1.5	0	-120	0	-120	5	3	1.5		
8 5 1.5	0	-150	0	-150	6	4	1.5		
9 5 2.5	0	-200	0	-200	7	4	2.5		
10 6 2.5	0	-250	0	-250	8	5	2.5		
10 6 4	0	-250	0	-250	8	5	4		
11 7 5	0	-300	0	-300	10	6	5		
13 — —	0	-350	—	—	13	—	—		
15 — —	0	-400	—	—	15	—	—		
— — —	—	—	—	—	—	—	—		

単位: μm

側面に対する 外輪外径面の直角度 S_D			実測幅の寸法差 Δ_{Cs}		幅不同 V_{Cs}		
5級	4級	2級	全等級		5級	4級	2級
最大	最大	最大	最大		最大	最大	最大
8 4 1.5	8 4 1.5	同じ軸受の d に 対する Δ_{Bs} の 許容差によります。	5	2.5	1.5		
8 4 1.5	8 4 1.5		6	3	1.5		
9 5 2.5	9 5 2.5		8	4	2.5		
10 5 2.5	10 5 2.5		8	5	2.5		
10 5 2.5	10 5 2.5		8	5	2.5		
11 7 4	11 7 4		10	7	4		
13 8 5	13 8 5		11	7	5		
13 10 7	13 10 7		13	8	7		
15 — —	15 — —		15	—	—		
18 — —	18 — —		18	—	—		
20 — —	20 — —		20	—	—		

10.6 円筒ころ軸受のラジアル内部すきま

■ 円筒ころ軸受の非互換性ラジアル内部すきま

円筒ころ軸受のラジアル内部すきまには、複数円筒ころ軸受、単列円筒ころ軸受ともに、内輪、外輪の組合せが変更できない非互換性ラジアル内部すきま品と組合せを変更できる互換性ラジアル内部すきま品があります。工作機械主軸のような高精度を必要とする部位には、すきまレンジが小さい非互換性ラジアル内部すきま品が採用されま

す。また、テーパ穴軸受を使用し、組立後内部すきまを 0 近傍に調整する場合、一般には、C0NA すきま、または C1NA すきまを推奨します。また、円筒穴軸受については、組立後内部すきまをさらに、小さいレンジで管理した非互換性ラジアル内部すきま特殊品もあります。詳細については **NTN** にご照会ください。

表 10.4 円筒穴軸受

単位：μm

呼び軸受内径 d mm		円筒穴軸受					
を超え	以下	C1NA		C2NA		NA ¹⁾	
		最小	最大	最小	最大	最小	最大
24	30	5	10	10	25	25	35
30	40	5	12	12	25	25	40
40	50	5	15	15	30	30	45
50	65	5	15	15	35	35	50
65	80	10	20	20	40	40	60
80	100	10	25	25	45	45	70
100	120	10	25	25	50	50	80
120	140	15	30	30	60	60	90
140	160	15	35	35	65	65	100
160	180	15	35	35	75	75	110
180	200	20	40	40	80	80	120
200	225	20	45	45	90	90	135
225	250	25	50	50	100	100	150
250	280	25	55	55	110	110	165
280	315	30	60	60	120	120	180
315	355	30	65	65	135	135	200
355	400	35	75	75	150	150	225
400	450	45	85	85	170	170	255
450	500	50	95	95	190	190	285

注 1) 普通すきまの記号は "NA" です。例：N1006HSNA

表 10.5 テーパ穴軸受

単位：μm

呼び軸受内径 d mm		テーパ穴軸受 ¹⁾					
を超え	以下	C9NA		C0NA		C1NA	
		最小	最大	最小	最大	最小	最大
24	30	5	10	10	20	10	25
30	40	5	12	10	20	12	25
40	50	5	15	10	20	15	30
50	65	5	15	10	20	15	35
65	80	10	20	15	30	20	40
80	100	10	25	20	35	25	45
100	120	10	25	20	35	25	50
120	140	15	30	25	40	30	60
140	160	15	35	30	45	35	65
160	180	15	35	30	45	35	75
180	200	20	40	30	50	40	80
200	225	20	45	35	55	45	90
225	250	25	50	40	65	50	100
250	280	25	55	40	65	55	110
280	315	30	60	45	75	60	120
315	355	30	65	45	75	65	135
355	400	35	75	50	90	75	150
400	450	45	85	60	100	85	170
450	500	50	95	70	115	95	190

注 1) JIS 5 級以上の軸受に適用します。

■ 円筒ころ軸受（円筒穴）の互換性ラジアル内部すきま

表 10.6

単位：μm

呼び軸受内径 d mm		C2		CN (普通)		C3	
を超え	以下	最小	最大	最小	最大	最小	最大
24	30	0	25	20	45	35	60
30	40	5	30	25	50	45	70
40	50	5	35	30	60	50	80
50	65	10	40	40	70	60	90
65	80	10	45	40	75	65	100
80	100	15	50	50	85	75	110
100	120	15	55	50	90	85	125
120	140	15	60	60	105	100	145
140	160	20	70	70	120	115	165
160	180	25	75	75	125	120	170
180	200	35	90	90	145	140	195
200	225	45	105	105	165	160	220
225	250	45	110	110	175	170	235
250	280	55	125	125	195	190	260
280	315	55	130	130	205	200	275
315	355	65	145	145	225	225	305
355	400	100	190	190	280	280	370
400	450	110	210	210	310	310	410
450	500	110	220	220	330	330	440

■ テーパ穴軸受のすきま調整

テーパ穴軸受の組立後内部すきまの調整については軸テーパ穴の押込み量の調整により行います。この調整については軸受問座の幅調整の繰返しによる方法と残留内部すきま調整ゲージによる二つの方法があります。量産には残留内部すきま調整ゲージの使用が便利です。

技術解説 (6. 軸受の取扱い 6.7 円筒ころ軸受のすきま調整) の項をご参照ください。

10.7 高精度円筒ころ軸受の推奨はめあい

精密軸受の高精度を維持するため、 d_{mn} 値 $\leq 75 \times 10^4$ (d_m : 転動体ピッチ径 mm, n : 回転速度 min^{-1}) の場合、表 10.7、表 10.8 のはめあいを推奨します。

表 10.7 軸とのはめあい 単位: μm

呼び軸受内径 d mm		内輪と軸とのはめあい
を超え	以下	
18	30	0 ~ 4T
30	50	0 ~ 5T
50	80	1T ~ 6T
80	120	1T ~ 6T
120	180	2T ~ 8T
180	250	2T ~ 8T
250	315	3T ~ 10T
315	400	4T ~ 11T

備考 狙いは中央値としてください。
T: しまりばめ
テーパ穴軸受には適用しません。

■テーパ穴軸受のはめあい

テーパ軸とのはめあいにおいては、軸受の高精度を維持する点でテーパ軸穴の当たり管理を十分行うようご配慮ください。

テーパ角度の管理方法については技術解説 (6. 軸受の取扱い 6.8 円筒ころ軸受テーパ穴と主軸テーパ角度) の項をご参照ください。

d_{mn} 値 $> 75 \times 10^4$ の場合には軸とのはめあいに遠心力による膨張を考慮する必要があるため、推奨はめあいを **NTN** にご照会ください。

表 10.8 ハウジングとのはめあい 単位: μm

呼び軸受外径 D mm		外輪とハウジングとのはめあい
を超え	以下	
30	50	0 ~ 3T
50	80	0 ~ 4T
80	120	0 ~ 4T
120	150	0 ~ 5T
150	180	0 ~ 5T
180	250	0 ~ 6T
250	315	0 ~ 7T
315	400	0 ~ 8T
400	500	0 ~ 9T

備考 狙いは中央値としてください。
T: しまりばめ

10.8 推奨潤滑仕様

円筒ころ軸受は一般にグリース潤滑またはエアオイル潤滑で使用されます。各潤滑方法の推奨仕様を以下に示します。

■グリース潤滑

●推奨銘柄

技術解説 (7. 軸受の潤滑 7.1 グリース潤滑) の項をご参照ください。

●推奨グリース封入量

寸法表記載の空間容積の 10 ~ 15 %
慣らし運転時間の短縮のため、下限狙いを推奨します。

●推奨グリース封入方法

技術解説 (6. 軸受の取扱い 6.1 軸受の洗浄とグリース封入作業) の項をご参照ください。

■エアオイル潤滑

●推奨ノズル位置

技術解説 (7. 軸受の潤滑 7.2 エアオイル潤滑 推奨ノズル狙い位置) の項をご参照ください。

●推奨ノズル仕様

ノズル穴径 $\phi 1 \sim \phi 1.5$ mm
ノズル数 1 本/軸受
ノズル穴長さは穴径の 3 ~ 6 倍

●推奨エアオイル仕様

オイル仕様 スピンドル油
粘度グレード ISO VG 10 ~ 32 (32 を推奨)

表 10.9 エア量および給油量

軸受形式	d_{mn} 値 (×10 ⁴) を超え 以下	1ショット の噴射量 mL	給油間隔 min	給油量 mL/h	推奨エア量 NL/min ¹⁾
NN30	～ 100	0.02	8	0.15	30 ～ 40
NN30HS	100 ～ 150		5	0.24	
N10HS N10HSRT6	150 ～ 230		5	0.24	
NN30HST6 NN30HSRT6	～ 170		15	0.08	20 ～ 40
N10HSLT6	～ 230		10	0.12	

注 1) NL / min (ノルマルリットル/毎分) …NL は 0 °C, 1 気圧での体積を意味する給気量
備考 給油量、エア量は主軸構造や排気経路の違いにより調整が必要です。実機テストで確認の上、設定ください。

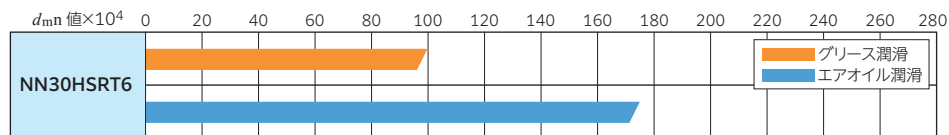
10.9 ULTAGE 超高速複列円筒ころ軸受 NN30HSRT6 タイプ

NN30HSRT6 タイプは、従来タイプの剛性・耐荷重性を維持しつつ、高速性能を向上させた複列円筒ころ軸受です。

■特長

- 1.『高速・低温度上昇』を実現するため、内部仕様の最適化を実施。
- 2.エアオイル潤滑での高速性、グリース潤滑での高速性およびグリースの長寿命化に対応した PEEK 樹脂保持器を採用。

■使用領域



備考 各軸受の許容回転速度 (d_{mn} 値) は使用される機械の仕様 (モータの駆動方式、冷却方式、周辺構造等) により左右されます。上記目安値を参考に検討の上、NTN にご照会ください。

■保持器仕様

保持器に軽量・高強度のポリエーテルエーテルケトン (PEEK) を採用 (写真 10.1 参照)。軽量化および形状の改良により、遠心力による変形を抑えることで高速運転を可能にしました。また、保持器にグリースポケットを設けることでグリースの保持性を高め、長寿命化を実現しました。



写真 10.1 PEEK 樹脂保持器

■軸受仕様

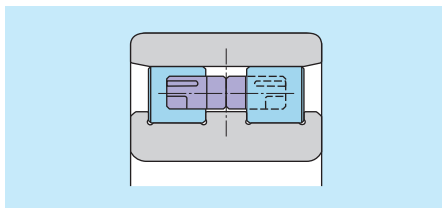
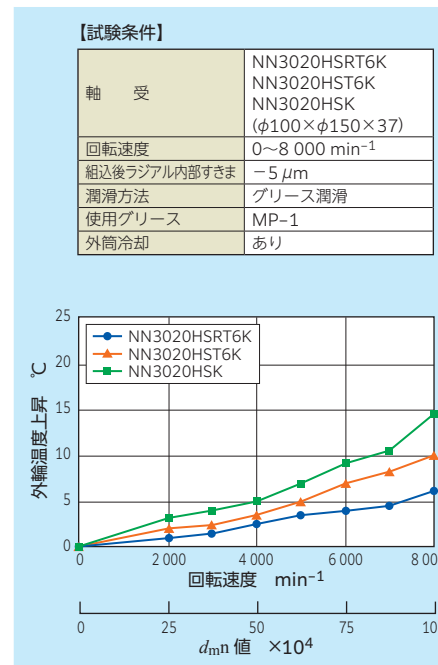
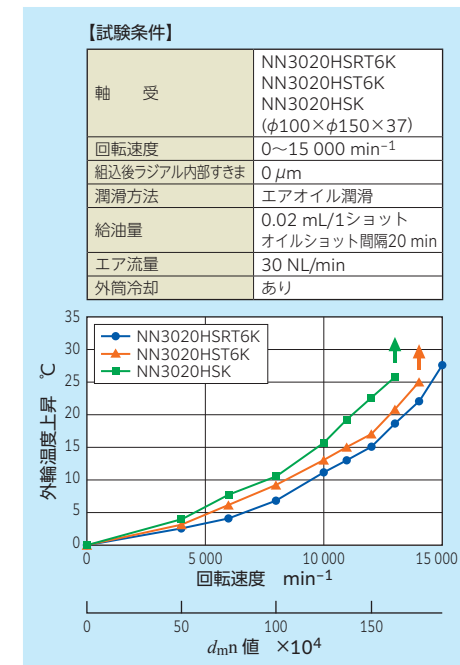


図 10.4 NN30HSRT6 タイプ

■データ／運転試験

内部仕様の最適化により、グリース潤滑で d_{mn} 値 100×10^4 、エアオイル潤滑で d_{mn} 値 175×10^4 の高速運転ができます (図 10.5、図 10.6 参照)。

図 10.5 運転試験結果
(グリース潤滑, 外筒冷却あり)図 10.6 運転試験結果
(エアオイル潤滑, 外筒冷却あり)

■データ／耐久試験

NN30HSRT6K タイプは保持器のグリースポケットをはじめとする最適設計により、 d_{mn} 値 100×10^4 条件で 13 800 時間の連続運転を実現 (図 10.7 参照)。

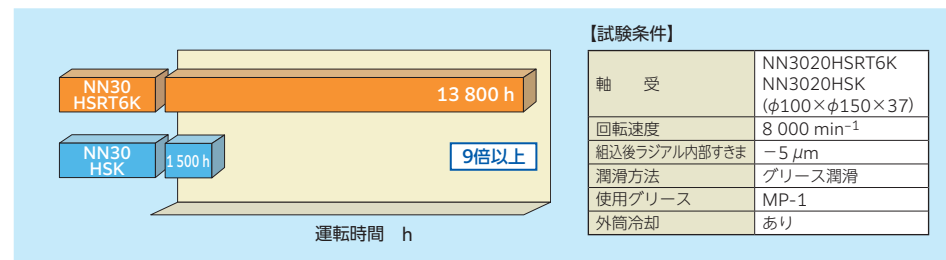


図 10.7 耐久試験結果

10.10 **ULTAGE** 超高速単列円筒ころ軸受 N10HSRT6 タイプ

円筒ころ軸受 N10HSRT6 タイプは、高速性能を向上させた円筒ころ軸受です。

■特長

- 1.『高速・低温度上昇』を実現するため、内部仕様の最適化を実施。
2. 高速性に対応した PEEK 樹脂保持器を採用。

■軸受仕様

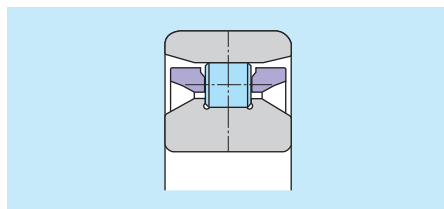
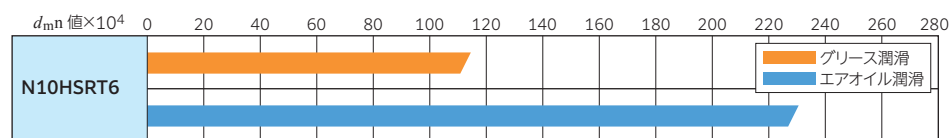


図 10.8 N10HSRT6 タイプ

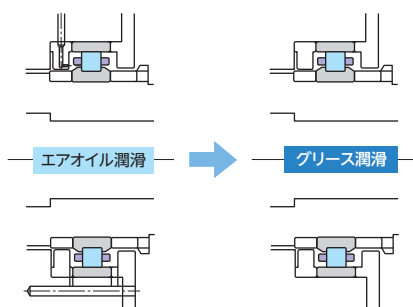
■使用領域



備考 各軸受の許容回転速度 (d_{mn} 値) は使用される機械の仕様 (モータの駆動方式、冷却方式、周辺構造等) により左右されます。上記目安値を参考に検討の上、NTN にご照会ください。

■主軸構造の簡素化提案／潤滑方法の変更

N10HSRT6 タイプは内部構造の最適化により、グリース潤滑での高速運転ができます。ミスト飛散がほとんどないグリース潤滑は環境負荷低減に貢献します (図 10.9 参照)。

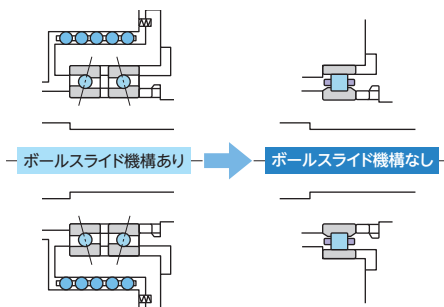


d_{mn} 値 115×10^4 [グリース潤滑] まで置換え可能

図 10.9 潤滑方法の変更

■主軸構造の簡素化提案／主軸リヤ構造の簡素化

N10HSR (N10HSL) T6 タイプの採用により、リヤ側アンギュラ玉軸受を円筒ころ軸受に置換えることが可能となります。軸受列数が削減 (2 列 → 1 列) でき、また、ボールスライド機構が不要になるなど、高速主軸における主軸リヤ構造の簡素化に貢献します (図 10.10 参照)。

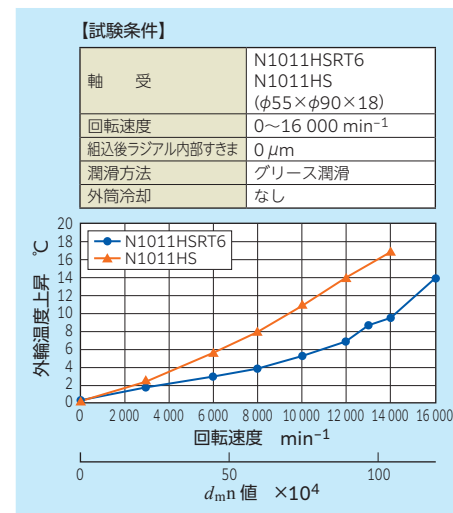
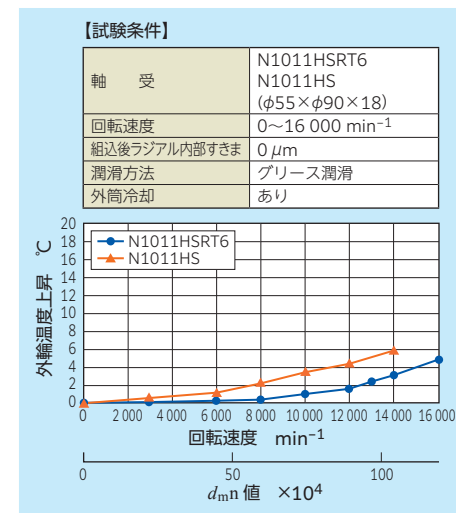
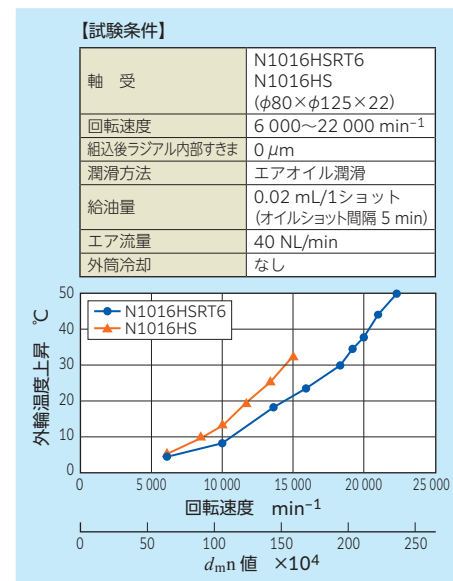
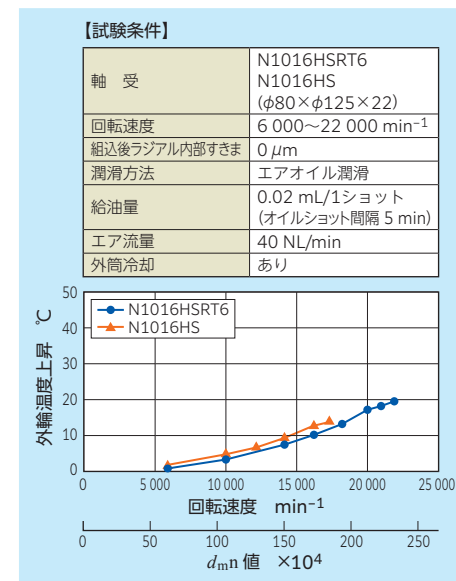


d_{mn} 値 230×10^4 [エアオイル潤滑]
 d_{mn} 値 115×10^4 [グリース潤滑] まで置換え可能

図 10.10 主軸リヤ構造の簡素化

■データ／高速運転試験

内部仕様の最適化により、グリース潤滑時 d_{mn} 値 115×10^4 、エアオイル潤滑時 d_{mn} 値 230×10^4 の高速運転を実現 (図 10.11 ~ 図 10.14 参照)。

図 10.11 高速運転試験結果
(グリース潤滑, 外筒冷却なし)図 10.12 高速運転試験結果
(グリース潤滑, 外筒冷却あり)図 10.13 高速運転試験結果
(エアオイル潤滑, 外筒冷却なし)図 10.14 高速運転試験結果
(エアオイル潤滑, 外筒冷却あり)

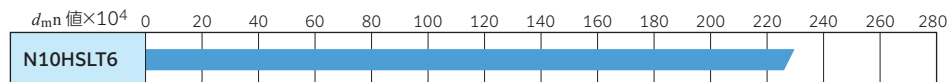
10.11 ULTAGE 環境対応型エアオイル潤滑超高速単列円筒ころ軸受 N10HSLT6 タイプ

環境対応型エアオイル潤滑円筒ころ軸受 N10HSLT6 タイプは、N10HSRT6 タイプ軸受に独自の環境対応潤滑技術を適用した商品です。ミスト飛散の低減、エア量・オイル消費量の削減が可能となり、作業環境を改善し、省エネルギーと高速化を実現します。

■特長

- 1.『高速・低温度上昇』を実現するため、内部仕様の最適化を実施。
2. 環境対応型ノズルの採用により、低騒音化（最大 7 dBA 低減）エア量削減（1/2）オイル消費量削減（1/2）を実現。

■使用領域



備考 各軸受の許容回転速度（ d_{mn} 値）は使用される機械の仕様（モータの駆動方式、冷却方式、周辺構造等）により左右されます。上記目安値を参考に検討の上、NTN にご照会ください。

■軸受仕様

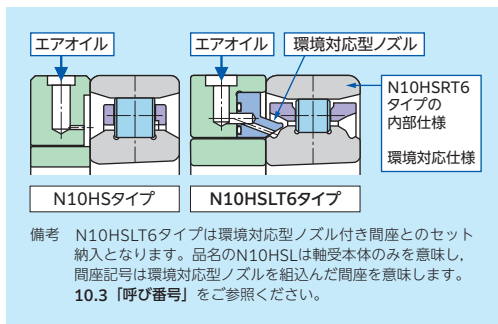


図 10.15 N10HSLT6 タイプ

■データ／高速運転試験

N10HSLT6 タイプはエア量、オイル量を削減した条件で d_{mn} 値 230×10^4 の高速運転ができます（図 10.16、図 10.17 参照）。

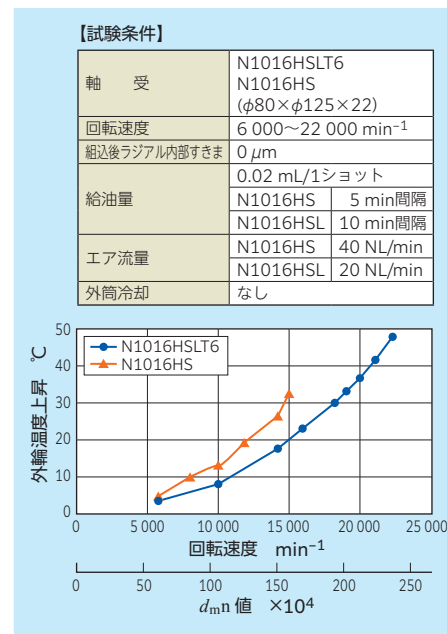


図 10.16 高速運転試験結果（外筒冷却なし）

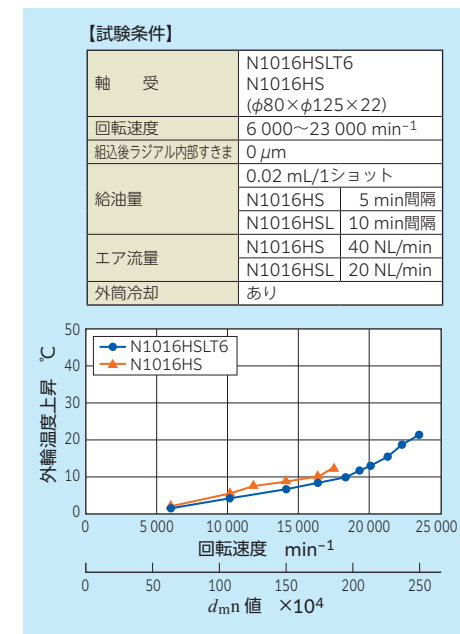
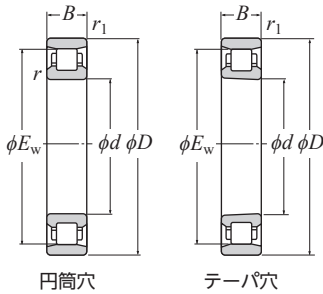


図 10.17 高速運転試験結果（外筒冷却あり）

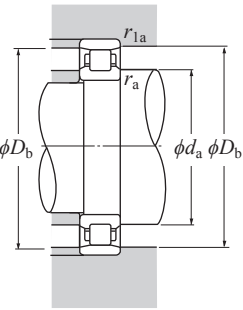
高速単列円筒ころ軸受



d 30 ~ 80 mm

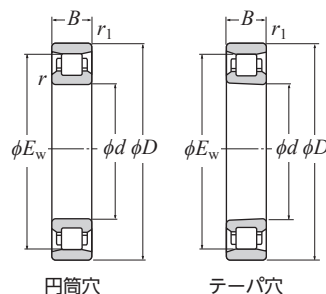
呼び番号 ^{1) 3)}		主要寸法						基本動 定格荷重	基本静 定格荷重	基本動 定格荷重	基本静 定格荷重	許容回転速度		取付関係寸法					質量 (参考)	空間容積	呼び番号 ^{1) 3)}	
		mm						kN		kgf		min^{-1}		mm					kg	cm ³		
円筒穴	テーパ穴	d	D	B	$r_{s \text{ min}}^{2)}$	$r_{ls \text{ min}}^{2)}$	E_w	C_r	C_{0r}	C_r	C_{0r}	グリース 潤滑	油潤滑	d_a 最小	D_b 最大	最小	r_{as} 最大	r_{las} 最大	円筒穴		円筒穴	テーパ穴
N1006HS	N1006HSK	30	55	13	1	0.6	48.5	19.1	17.6	1 950	1 790	20 500	32 100	35	50	49	1	0.6	0.143	4.33	N1006HS	N1006HSK
N1007HS	N1007HSK	35	62	14	1	0.6	55	23.5	22.5	2 390	2 300	18 000	28 200	40	57	56	1	0.6	0.190	5.06	N1007HS	N1007HSK
N1008HS	N1008HSK	40	68	15	1	0.6	61	26.9	26.3	2 750	2 680	16 100	25 300	45	63	62	1	0.6	0.235	7.10	N1008HS	N1008HSK
N1009HS	N1009HSK	45	75	16	1	0.6	67.5	32.5	32.5	3 300	3 350	14 500	22 800	50	70	69	1	0.6	0.298	8.85	N1009HS	N1009HSK
N1010HS	N1010HSK	50	80	16	1	0.6	72.5	33.0	34.5	3 400	3 550	13 400	21 100	55	75	74	1	0.6	0.323	10.8	N1010HS	N1010HSK
N1011HS	N1011HSK	55	90	18	1.1	1	81	43.5	46.0	4 400	4 700	12 100	18 900	61.5	83.5	82	1	1	0.473	15.0	N1011HS	N1011HSK
N1012HS	N1012HSK	60	95	18	1.1	1	86.1	44.5	48.5	4 550	4 950	11 300	17 700	66.5	88.5	87	1	1	0.505	15.3	N1012HS	N1012HSK
N1013HS	N1013HSK	65	100	18	1.1	1	91	47.0	53.5	4 800	5 450	10 600	16 600	71.5	93.5	92	1	1	0.538	19.0	N1013HS	N1013HSK
N1014HS	N1014HSK	70	110	20	1.1	1	100	57.5	65.5	5 850	6 700	9 700	15 200	76.5	103.5	101	1	1	0.745	22.0	N1014HS	N1014HSK
N1015HS	N1015HSK	75	115	20	1.1	1	105	59.0	69.0	6 000	7 050	9 200	14 400	81.5	108.5	106	1	1	0.787	26.5	N1015HS	N1015HSK
N1016HS	N1016HSK	80	125	22	1.1	1	113	70.5	82.0	7 200	8 400	8 500	13 400	86.5	118.5	114	1	1	1.05	31.1	N1016HS	N1016HSK

注 1) K の付いたものはテーパ比 1/12 のテーパ穴軸受を表します。
2) 面取寸法 r または r₁ の最小許容寸法です。
3) N10HS は標準の N10 と内部仕様が異なります。



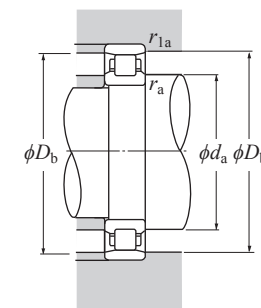
動等価ラジアル荷重
 $P_r = F_r$
静等価ラジアル荷重
 $P_{0r} = F_r$

高速単列円筒ころ軸受



d 85 ~ 160 mm

呼び番号 ^{1) 3)}		主要寸法						基本動 定格荷重	基本静 定格荷重	基本動 定格荷重	基本静 定格荷重	許容回転速度		取付関係寸法				質量 (参考) kg	空間容積 cm ³	呼び番号 ^{1) 3)}	
		mm						kN		kgf		min ⁻¹		mm				円筒穴			
円筒穴	テーパ穴	d	D	B	r _s min ²⁾	r _{ls} min ²⁾	E _w	C _r	C _{0r}	C _r	C _{0r}	グリース 潤滑	油潤滑	d _a 最小	D _b 最大	r _{as} 最小	r _{las} 最大			円筒穴	テーパ穴
N1017HS	N1017HSK	85	130	22	1.1	1	118	72.0	86.0	7 350	8 800	8 100	12 800	91.5	123.5	119	1	1.10	33.4	N1017HS	N1017HSK
N1018HS	N1018HSK	90	140	24	1.5	1.1	127	87.0	105	8 900	10 700	7 600	11 900	98	132	129	1.5	1.43	40.0	N1018HS	N1018HSK
N1019HS	N1019HSK	95	145	24	1.5	1.1	132	89.0	110	9 100	11 200	7 300	11 400	103	137	134	1.5	1.50	46.5	N1019HS	N1019HSK
N1020HS	N1020HSK	100	150	24	1.5	1.1	137	91.0	115	9 300	11 700	7 000	11 000	108	142	139	1.5	1.55	53.5	N1020HS	N1020HSK
N1021HS	N1021HSK	105	160	26	2	1.1	146	121	149	12 300	15 200	6 600	10 400	114	151	148	2	1.96	56.2	N1021HS	N1021HSK
N1022HS	N1022HSK	110	170	28	2	1.1	155	139	173	14 200	17 700	6 200	9 800	119	161	157	2	2.44	68.8	N1022HS	N1022HSK
N1024HS	N1024HSK	120	180	28	2	1.1	165	142	182	14 500	18 500	5 800	9 100	129	171	167	2	2.61	87.5	N1024HS	N1024HSK
N1026HS	N1026HSK	130	200	33	2	1.1	182	173	220	17 700	22 400	5 300	8 300	139	191	183	2	3.95	118	N1026HS	N1026HSK
N1028HS	N1028HSK	140	210	33	2	1.1	192	182	240	18 600	24 400	5 000	7 800	149	201	194	2	4.19	130	N1028HS	N1028HSK
N1030HS	N1030HSK	150	225	35	2.1	1.5	206	205	273	20 900	27 800	4 700	7 300	161	214	208	2	5.10	151	N1030HS	N1030HSK
N1032HS	N1032HSK	160	240	38	2.1	1.5	219	228	305	23 300	31 500	4 400	6 900	171	229	221	2	6.30	172	N1032HS	N1032HSK



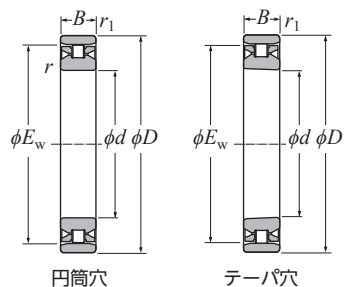
動等価ラジアル荷重
 $P_r = F_r$

静等価ラジアル荷重
 $P_{0r} = F_r$

注 1) K の付いたものはテーパ比 1/12 のテーパ穴軸受を表します。

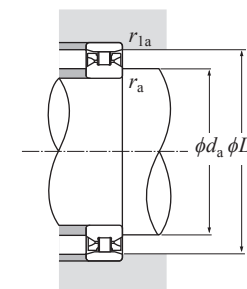
2) 面取寸法 r または r_1 の最小許容寸法です。

3) N10HS は標準の N10 と内部仕様が異なります。



d 45 ~ 100 mm

呼び番号 ¹⁾		主要寸法							基本動 定格荷重	基本静 定格荷重	基本動 定格荷重	基本静 定格荷重	許容回転速度		取付関係寸法				空間 容積 cm ³	呼び番号 ¹⁾	
		mm							kN		kgf		min ⁻¹		mm						
円筒穴	テーパ穴	d	D	B	r _{s min} ²⁾	r _{1s min} ²⁾	E _w	C _r	C _{0r}	C _r	C _{0r}	グリース 潤滑	油潤滑	d _a 最小	D _b 最大	最小	r _{as} 最大	r _{1as} 最大		円筒穴	テーパ穴
N1009HSRT6	N1009HSRT6K	45	75	16	1	0.6	67.5	23.3	22.5	2 380	2 290	18 900	37 700	50	70	69	1	0.6	9.2	N1009HSRT6	N1009HSRT6K
N1011HSRT6	N1011HSRT6K	55	90	18	1.1	1	81	26.7	28.7	2 730	2 930	15 400	30 900	61.5	83.5	82	1	1	15.7	N1011HSRT6	N1011HSRT6K
N1012HSRT6	N1012HSRT6K	60	95	18	1.1	1	86.1	26.4	28.9	2 700	2 950	14 400	28 900	66.5	88.5	87	1	1	17.0	N1012HSRT6	N1012HSRT6K
N1013HSRT6	N1013HSRT6K	65	100	18	1.1	1	91	28.1	32.0	2 860	3 250	13 600	27 200	71.5	93.5	92	1	1	17.9	N1013HSRT6	N1013HSRT6K
N1014HSRT6	N1014HSRT6K	70	110	20	1.1	1	100	32.5	37.5	3 300	3 850	12 400	24 700	76.5	103.5	101	1	1	23.3	N1014HSRT6	N1014HSRT6K
N1016HSRT6	N1016HSRT6K	80	125	22	1.1	1	113	42.5	50.0	4 300	5 100	11 000	21 900	86.5	118.5	114	1	1	31.6	N1016HSRT6	N1016HSRT6K
N1018HSRT6	N1018HSRT6K	90	140	24	1.5	1.1	127	53.0	64.5	5 450	6 550	9 700	19 500	98	132	129	1.5	1	41.1	N1018HSRT6	N1018HSRT6K
N1020HSRT6	N1020HSRT6K	100	150	24	1.5	1.1	137	56.0	70.5	5 700	7 200	9 000	18 000	108	142	139	1.5	1	45.1	N1020HSRT6	N1020HSRT6K



動等価ラジアル荷重
 $P_r = F_r$

静等価ラジアル荷重
 $P_{0r} = F_r$

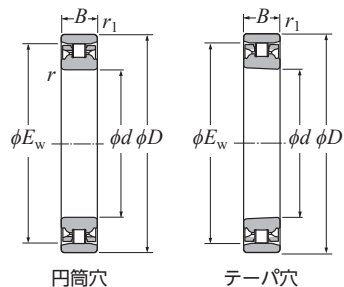
注 1) K の付いたものはテーパ比 1/12 のテーパ穴軸受を表します。

2) 面取寸法 r または r₁ の最小許容寸法です。

● 円筒ころ軸受 寸法表

ULTAGE 環境対応型超高速単列円筒ころ軸受 エアオイル潤滑専用

NTN



d 55 ~ 100 mm

呼び番号 ¹⁾		主要寸法										基本動 定格荷重		基本静 定格荷重		基本動 定格荷重		基本静 定格荷重		許容回転速度		取付関係寸法							呼び番号 ¹⁾	
		mm							kN			kgf		min ⁻¹		mm														
円筒穴	テーパ穴	<i>d</i>	<i>D</i>	<i>B</i>	<i>r_s min</i> ²⁾	<i>r_{ls} min</i> ²⁾	<i>E_w</i>	<i>C_r</i>	<i>C_{0r}</i>	<i>C_r</i>	<i>C_{0r}</i>	油潤滑	<i>d_a</i> 最小	最大	<i>D_b</i>	最小	<i>r_{as}</i> 最大	<i>r_{las}</i> 最大	<i>l</i> ³⁾ 最小	円筒穴	テーパ穴									
N1011HSLT6	N1011HSLT6K	55	90	18	1.1	1	81	26.7	28.7	2 730	2 930	30 900	61.5	83.5	82	1	1	8.5		N1011HSLT6	N1011HSLT6K									
N1012HSLT6	N1012HSLT6K	60	95	18	1.1	1	86.1	26.4	28.9	2 700	2 950	28 900	66.5	88.5	87	1	1	8.5		N1012HSLT6	N1012HSLT6K									
N1013HSLT6	N1013HSLT6K	65	100	18	1.1	1	91	28.1	32.0	2 860	3 250	27 200	71.5	93.5	92	1	1	8.5		N1013HSLT6	N1013HSLT6K									
N1014HSLT6	N1014HSLT6K	70	110	20	1.1	1	100	32.5	37.5	3 300	3 850	24 700	76.5	103.5	101	1	1	10		N1014HSLT6	N1014HSLT6K									
N1016HSLT6	N1016HSLT6K	80	125	22	1.1	1	113	42.5	50.0	4 300	5 100	21 900	86.5	118.5	114	1	1	10		N1016HSLT6	N1016HSLT6K									
N1018HSLT6	N1018HSLT6K	90	140	24	1.5	1.1	127	53.0	64.5	5 450	6 550	19 500	98	132	129	1.5	1	10		N1018HSLT6	N1018HSLT6K									
N1020HSLT6	N1020HSLT6K	100	150	24	1.5	1.1	137	56.0	70.5	5 700	7 200	18 000	108	142	139	1.5	1	10		N1020HSLT6	N1020HSLT6K									

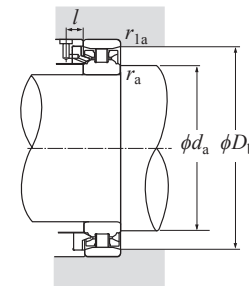
注 1) K の付いたものはテーパ比 1/12 のテーパ穴軸受を表します。

2) 面取寸法 r または r_1 の最小許容寸法です。

3) 間座詳細寸法は NTN にご照会ください。

● 円筒ころ軸受 寸法表

NTN



動等価ラジアル荷重
 $P_r = F_r$

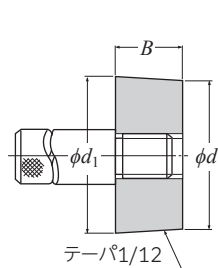
静等価ラジアル荷重
 $P_{0r} = F_r$

主
軸
用
軸
受

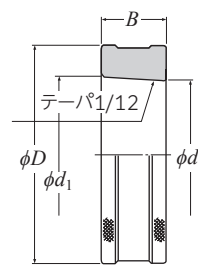
10.12 NTN 精密円筒ころ軸受用テーパゲージおよび内部すきま調整ゲージ

工作機械がますます高速、高精度になるにつれ、軸受も高精度が要求されています。精密軸受の性能を発揮するためには、軸受を正しく軸やハウジングに取付ける必要があります。特にテーパ穴円筒ころ軸受を用いる場合は、軸のテーパを正確に仕上げる必要があります。**NTN** では、軸受と同じ精度に仕上げたテーパ軸用リングゲージの使用を推奨します。なお、テーパ面の当たり率は 80 % 以上を目安としてください。

テーパゲージ寸法表



プラグゲージ (TA 形)

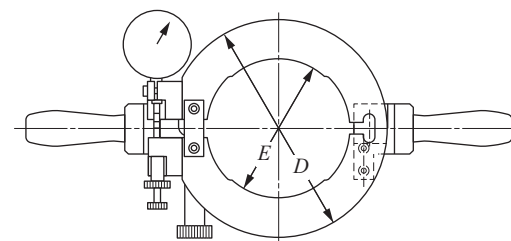


リングゲージ (TB 形)

呼び番号		対象軸受		主要寸法				質量 (参考) kg	
				mm					
プラグゲージ	リングゲージ			d	d_1	D	B	TA形	TB形
TANN3006K	TBNN3006K	N1006HSK	NN3006K	30	31.583	70	19	0.2	0.5
TANN3007K	TBNN3007K	N1007HSK	NN3007K	35	36.667	75	20	0.3	0.6
TANN3008K	TBNN3008K	N1008HSK	NN3008K	40	41.750	80	21	0.3	0.7
TANN3009K	TBNN3009K	N1009HSK	NN3009K	45	46.917	85	23	0.4	0.7
TANN3010K	TBNN3010K	N1010HSK	NN3010K	50	51.917	90	23	0.5	0.8
TANN3011K	TBNN3011K	N1011HSK	NN3011K	55	57.167	95	26	0.7	0.9
TANN3012K	TBNN3012K	N1012HSK	NN3012K	60	62.167	100	26	0.8	1.0
TANN3013K	TBNN3013K	N1013HSK	NN3013K	65	67.167	105	26	0.9	1.1
TANN3014K	TBNN3014K	N1014HSK	NN3014K	70	72.500	110	30	1.3	1.3
TANN3015K	TBNN3015K	N1015HSK	NN3015K	75	77.500	115	30	1.4	1.4
TANN3016K	TBNN3016K	N1016HSK	NN3016K	80	82.833	125	34	1.7	1.9
TANN3017K	TBNN3017K	N1017HSK	NN3017K	85	87.833	130	34	1.9	2.0
TANN3018K	TBNN3018K	N1018HSK	NN3018K	90	93.083	140	37	2.4	2.6
TANN3019K	TBNN3019K	N1019HSK	NN3019K	95	98.083	145	37	2.6	2.7
TANN3020K	TBNN3020K	N1020HSK	NN3020K	100	103.083	150	37	2.8	2.8
TANN3021K	TBNN3021K	N1021HSK	NN3021K	105	108.417	160	41	3.5	3.6
TANN3022K	TBNN3022K	N1022HSK	NN3022K	110	113.750	165	45	4.0	4.1
TANN3024K	TBNN3024K	N1024HSK	NN3024K	120	123.833	170	46	4.7	4.1
TANN3026K	TBNN3026K	N1026HSK	NN3026K	130	134.333	180	52	6.4	4.8
TANN3028K	TBNN3028K	N1028HSK	NN3028K	140	144.417	190	53	7.4	5.2
TANN3030K	TBNN3030K	N1030HSK	NN3030K	150	154.667	210	56	8.4	7.2
TANN3032K	TBNN3032K	N1032HSK	NN3032K	160	165.000	220	60	10	8.1

リングゲージの精度を確認するためのプラグゲージも用意しています。また、円筒ころ軸受のラジアル内部すきまは、適正に調整しなければなりません。ラジアル内部すきまが大きすぎると、主軸の精度が悪くなり、小さすぎると軸受の異常発熱や早期剥離などの原因となります。適正内部すきまを得るために、残留内部すきま調整ゲージの使用を推奨します。

残留内部すきま調整ゲージ寸法表



呼び番号		対象軸受		主要寸法		
				mm		
				E	D	幅 B
SBNN3007-2	N1007HSK	NN3007K		55	101	23
SBNN3008-2	N1008HSK	NN3008K		61	107	23
SBNN3009-2	N1009HSK	NN3009K		67.5	114	23
SBNN3010-2	N1010HSK	NN3010K		72.5	120	23
SBNN3011-2	N1011HSK	NN3011K		81	131	25
SBNN3012-2	N1012HSK	NN3012K		86.1	138	25
SBNN3013-2	N1013HSK	NN3013K		91	145	25
SBNN3014-2	N1014HSK	NN3014K		100	156	28
SBNN3015-2	N1015HSK	NN3015K		105	161	28
SBNN3016-2	N1016HSK	NN3016K		113	175	30
SBNN3017-2	N1017HSK	NN3017K		118	185	30
SBNN3018-2	N1018HSK	NN3018K		127	195	33
SBNN3019-2	N1019HSK	NN3019K		132	204	33
SBNN3020-2	N1020HSK	NN3020K		137	210	33
SBNN3021-2	N1021HSK	NN3021K		146	220	36
SBNN3022-2	N1022HSK	NN3022K		155	235	40
SBNN3024-2	N1024HSK	NN3024K		165	250	40
SBNN3026-2	N1026HSK	NN3026K		182	275	45
SBNN3028-2	N1028HSK	NN3028K		192	285	45
SBNN3030-2	N1030HSK	NN3030K		206	305	50
SBNN3032-2	N1032HSK	NN3032K		219	320	50